



やまべ



令和6年
10月3日発行
第6号

創立150周年記念集会を迎えて -地域の方々とともに喜び合える学校であるために-

校長 大貫 弘敏

夏休み明けから一ヶ月が過ぎました。山部っ子は生き生きと授業や行事に取り組み、充実感や達成感を笑顔で伝えてくれます。その成長ぶりが嬉しくて、教職員一同、幸せな気持ちで勤務できますことを感謝いたします。

10月がスタートしました。26日(土)実施の「150周年記念事業」に向けて、地域・保護者の皆様の多大なるご協力をいただき、準備が着々と進んでおります。歴史と伝統のある山部小学校の記念となる150歳の誕生日を、心一つになって、山部っ子をはじめ多くの方々とお祝いでできることを願っております。ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、人の幸せの基盤となる「居心地のよさ」は、児童生徒の成長に大きな影響を与えるものであり、学校教育で重視すべき事と考えられるようになりました。東京都及び東京都医学総合研究所では、今年度「学校の居心地向上検証プロジェクト」で「居心地のよさ」に係る調査が実施されています。地域と共にある山部小学校では、山部っ子の「居心地のよさ」をうみだす「心の居場所」でありたいと願います。7月に実施しました学校評価アンケートで、「学校が楽しい」と答えてくれた山部っ子に、これからは学校の授業や生活に達成感や満足感を持ち続けてもらえるよう努力を重ねてまいります。

学校として山部っ子の「心の居場所」となるために重視したいのは以下の①②です。

- ①「自分はここにいていいんだ」と存在を受容してもらえる心理的な側面の居場所
- ②「自分は誰かの役に立っているんだ」と自己有用感を得られる社会的な側面の居場所

日頃の授業や学校行事はもちろんですが、特に「150周年記念事業」においては、第1部「記念集会」では②を、第2部「お楽しみ行事」では①を、山部っ子に感じてほしいと願っています。愛する山部小学校で学ぶ貴重な成長機会として、生涯にわたり反芻したい豊かな思い出として、これからの人生を歩むうえでの誇らしい1ページをつくりたいと考えます。

複式学級の山部小学校は、「多くの人と関わり多様な見方や考え方に触れる機会」や「切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出される機会」が少ないという側面も心配されますが、地域・保護者の皆様と交流する機会をもつことで、大きな成長がうまれると考えます。開かれた学校づくりに努めてまいりますので、今後も授業や学校行事にご参加いただき、教職員と共に山部っ子を励ましていただきますようお願いいたします。